

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 【推計人口】3月

令和8年3月1日の推計人口	1,228,545人
世帯数	556,302世帯
(参考)	
R2.10.1現在国勢調査総人口	1,312,317人
世帯数	558,230世帯

### 1. 推計人口

令和8年3月1日現在の推計人口は1,228,545人で、前月(1,230,170人)に比べ△1,625人となった。

市部では、長崎市(△566)、佐世保市(△452)など、11市で減少した。

郡部では、時津町(△149)、長与町(△40)など、5町で減少した。

自然動態は、出生数508人、死亡数1,622人で△1,114人、社会動態は、転入者数2,572人(県内転入を含む)、転出者3,083人(県内転出を含む)で、△511人となった。

### 2. 世帯数

令和8年3月1日現在の世帯数は、556,302世帯で前月(556,977)に比べ△675世帯となった

(注) 異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

## 【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】1月

1人当たり現金給与総額	284,086円
対前月比	53.7%減少
対前年同月比	4.4%増加

### 1. 賃金

1月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は284,086円で前月に比べ53.7%減少し、前年同月に比べ4.4%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は277,818円で、前月に比べ0.2%増加し、前年同月に比べ6.1%増加した。

特別給与は6,268円で、前年同月に比べ、4,143円減少した。

### 2. 労働時間

1月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は138.2時間で、前月に比べ3.9%減少し、前年同月に比べ0.3%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は127.4時間で前月に比べ4.3%減少し、前年同月に比べ0.6%減少した。

所定外労働時間は10.8時間で、前月に比べ2.9%増加し、前年同月に比べ3.8%増加した。

### 3. 雇用

1月の常用労働者数は217,722人で、前月に比べ1.3%減少し、前年同月に比べ2.4%減少した。

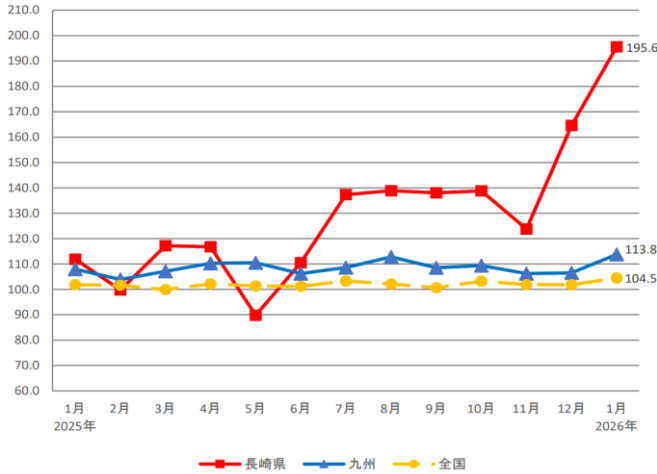
## 【鉱工業生産指数】1月

令和8年1月の鉱工業生産指数

(2020年=100)

区分	季節調整済指数	前月比 (%)	原指数	
			原指数	前月同月比 (%)
長崎県	195.6	18.8	154.9	57.6
九州	113.8	7.2	104.8	6.2
全国	104.5	4.3	95.0	0.7

鉱工業生産指数の推移（季節調整済指数）



2026年1月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が195.6で対前月比は18.8%の上昇、原指数は154.9で対前年同月比は57.6%の上昇となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、情報通信機械工業、鉄鋼業など8業種が上昇し、電気機械工業、金属製品工業、鉱業など5業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	143.3	ボイラの部品・付属品
情報通信機械工業	20.7	-
鉄鋼業	17.9	-

○主な低下業種

業種	前月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	△43.2	開閉制御装置
金属製品工業	△34.5	-
鉱業	△32.2	-

上昇業種、低下業種は全業種13業種から選定している。寄与した品目については、主要業種7業種のみ掲載している。  
(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

## 【長崎市消費者物価指数】2月

総合指数 (R2=100)

112.4

対前月比

0.9 %下落

対前年同月比

1.1 %上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年（令和2年）を100として、112.4で前月比0.9%の下落であった。

主な上昇要因は「教養娯楽」の0.5%、「教育」の0.4%であり、主な下落要因は「光熱・水道」の7.8%下落、「食料」の1.0%下落であった。

前年同月比は、10月は3.2%、11月は3.4%、12月は2.6%、1月は1.6%の上昇と推移した後、2月は1.1%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は111.6と前月から0.7%下落し、前年同月比は1.7%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

教養娯楽	0.5 %
教育	0.4 %
諸雑費	0.1 %

同水準の費目

住居 ±0.0 %

下落した費目

被服及び履物	△0.1 %
保健医療	△0.1 %
交通・通信	△0.1 %
家具・家事用品	△0.7 %
食料	△1.0 %
光熱・水道	△7.8 %

※上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

## 【家計（長崎市・勤労者世帯）】2月

消費支出（一世帯当たり）

298,516 円

前月比

60,669円減少（△16.9%）

令和8年2月の長崎市・勤労者世帯（農林漁家世帯を含む）の消費支出は298,516円で、前月比16.9%の減少、前年同月比は12.4%の増加であった。

平均消費性向（可処分所得に占める消費支出の割合）は70.2%であった。

(注) ”長崎市の勤労者世帯の家計の平均”と考えず参考値として利用ください。